

アジア拠点化・国際物流分野
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和5年度

ハイパー＆グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年9月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.7+4.7)/2=4.7$

4.7

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	企業間連携による用役コストの低減	102%	5
2	水島港の輸送効率改善による貨物取扱量	97%	4
3	企業集積によるコンビナートの成長と雇用の確保	526%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 2 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 3 = 4.7$

4.7

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標3は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.7

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(4.3+2.8+4.5)/3=3.9$

3.9

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.8

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.5

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.8

- ・企業間連携による用役コストの低減と水島港の輸送効率改善による貨物取扱量については、目標値又はほぼその水準を達成している点は評価できるが、いずれも前年度と比べて評価指標がやや減少傾向にあることが気にかかる。特に水島港の輸送効率改善による貨物取扱量の方は貨物取扱量も入港船舶隻数も前年度よりも減少しており、今後の改善に向けた具体的な取組があると更に望ましい。
- ・水島玉島航路の水深を-12mに増深するなど、着実に事業が推進されていると思う。
- ・本特区計画推進の柱となる「企業間連携による高効率・省資源」、「貨物輸送効率化」及び「新規企業立地と雇用」が引き続き安定的に実績が出ている。ソフトとハードの両面で官民および企業間がうまく連携して成果がでていることでもあり高く評価できる。
- ・国際バルク戦略港湾という強みと、港湾のハード整備、輸送効率向上の取組が順調に進んでいることで、水島港の競争力向上の基盤整備が進展している。一方で、港湾発展の要である貨物取扱量は特区全体の生産額の影響を受けることから、持続的な企業集積を維持することがやはり重要である。
- ・港湾に係わる諸案件が積み残しのままではあるが、エネルギー関連事業は社会の風潮もあり順調と見ることができ

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.8

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.7+3.9+4.8 \times 2) \div 4 = 4.6$

4.6

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。